

これまで寄せられた市民からの意見（意見交換会での意見メモや当日の発言、メールや郵送で寄せられた意見）のうち主なものを（1）整備基本計画に関する事項、（2）建設候補地に関する事項（3）その他の検討事項に整理し、委員会での検討事項、委員会以外で検討する事項に分けて今後の進め方を示した。前回委員会での指摘を受け、記述の修正や時点更新を行った。

1. 整備基本計画に関する事項

項目	主な市民意見	意見の提出方法	当委員会(部会含む)での検討事項	行政が対応を検討する事項	備考 (意見交換会での委員の発言)	
1) 現有施設	① 現在の町田リサイクル文化センターはどうするのか。	意見メモ		建設候補地になった場合、ならなかった場合のいずれの場合も既存施設は解体することになるが、工事を進めるにあたっては、周辺にお住まいの皆様と協議会等を設置し、話し合いながら進めていきたいと考えている。		
2) 施設計画	施設のあり方	① 新しいアイデアを入れたりして全国のモデルになれば良いと思う。あくまでも市民の側から見た建設をよろしく願いたい。 ② 安心して安全な施設であれば、良いことだと思う。更なるイメージアップというプラスαも加わるので、それなりにお金もかかるであろうが、相応の価値があれば良いと思う。 ③ 次の世代の市民がなるほどと思ってくれるような施設であってほしいと思う。多くの市民が納得し受け入れられる施設を是非進めて頂きたい。 ④ 町田はすごいねと言われる様な施設にしてほしい。	意見メモ	自主規制値や運転管理目標値の設定、リスク管理体制の構築、副次的機能のあり方等、市民に納得してもらえるような施設整備を議論してきた。引き続き市民にとって何が必要か考慮しながら検討を進めていく。		
	施設の内容	⑤ 具体的なイメージがわからない。機能や性能については数字の通りだと思うが、結論が美辞麗句になっているように思う。	意見メモ		広報紙やホームページ等を活用し、わかりやすい情報発信に努める。	
	運営主体	⑥ 回収車の民間委託は検討しているのか。 ⑦ 施設の運営は市が行うのか。または民間に委託して行うのか。 ⑧ 施設は市と、民間のどちらが建てるのか。土地の買収も含めてどうするのか教えてほしい。 ⑨ 近隣の市との協働的な運営はあるのか。また、どこから協力を要請される場合にするのか。	意見メモ 当日の発言		運営主体については、今後、行政が検討していくこととした。 現状では、近隣の市との協働的な運営は考えていない。 (但し、多摩ニュータウン環境組合の構成市のため、工事時等に相互協力は行なっていく。)	【藤倉委員】基本的な運営方式のメリットについては、今後、委員会の中でも少し検討していく予定にしている。[8/1] ⇒スケジュール変更により、行政が対応することとした。
	その他	⑩ 巨大な施設はどんな施設も子供たちは望んでいない。	メール、FAX等	町田市一般廃棄物資源化基本計画(以下、基本計画という)ではごみとして処理する量を40%削減することを全体目標として掲げ、様々なごみの減量化・資源化策を推進し、新しい熱回収施設の規模は縮小(現有処理能力476トン/日⇒216トン/日+災害廃棄物)して検討を進めている。		

項目	主な市民意見	意見の提出方法	当委員会(部会含む)での検討事項	行政が対応を検討する事項	備考 (意見交換会での委員の発言)	
3) 熱回収施設	① (焼却灰は) エコセメントにするという話だが、放射能に対してはどのように対策をとっているのか。	意見メモ		町田市の焼却灰は東京たま広域資源循環組合のエコセメント化施設に運搬し資源化している。この施設とは、1kgあたり8,000ベクレル以下であれば、受け入れるという約束をさせていただいており、それは施設周辺の住民の方たちとの合意もされている。 町田市の焼却灰の放射性物質濃度測定結果はホームページ上でもご報告しており、実際は8,000ベクレルよりも低い結果が出ている。		
4) バイオガス化施設	設備の安全性	① ガスホルダーの内膜の破損しないとの安全性(耐久性)を確認できるデータはあるのか。	意見メモ	町田市のホームページで公開中 http://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/kankyo/kankyogomishingikai/junkangata/20120724122421956.html	【細見委員長】非常に高圧のガスがかかるわけではない。そのため、耐久性という意味で強度的にはほとんど問題ないレベルだと思っている。 [7/26]	
	施設の規模	② そもそも多くの住民の住む町田市内に、そのような日本にも前例の少ない(50トン規模での)施設を作ることは基本的に無理があると思う。	意見メモ	発生抑制、生ごみ処理機の普及により、資源化を進めるが、堆肥化して資源化に適さない生ごみ19,000トン/年分については、バイオガス化する方向で検討している。	【細見委員長】施設の安全性あるいは構造について十分配慮しているということで対応できるかと思う。 [7/27]	
		③ 施設を造るといづれ老朽化して取りこわすことになる。その場合の危険負担を全く考えていないのではないのか。	意見メモ			
		④ 生ごみのバイオガス化施設は、日本にはあまりない。町田の施設は実験のようでこんなに大きな施設をリスクを犯して造ることはないと思う。どうしても必要であるならば、もっと小さい規模で実証実験をして、安全性を確認してから考えるべきではないのか。	意見メモ			【細見委員長】一つの実証実験を町田市で行ってそれから判断するというわけではなく、今ある施設、あるいは建設されつつある地域を実際に見た結果、バイオガス化に関しては委員会としては建設していこうと考えている。 [7/27]
		⑤ バイオガス化施設の一極集中はよろしくない。	意見メモ			
		⑥ 大きな規模の施設を建設すると、市民が自己発生抑制という努力を怠ってしまって、市のほうに依存してしまうという可能性がある。そのため、大きな規模を造ることより、もっと規模の小さなものを造り、発生抑制に関与しないと、市民の依存性が高まり全く市民はやろうとしないと思う。	当日の発言			施設を造るというハード対策だけでなく、ソフト対策についても充実を図っていく。
施設のイメージ・理解	⑦ バイオガスについて大多数の市民が理解していないのではないのか。	意見メモ	現在稼働中の生ごみを対象としたバイオガス化施設の情報ホームページに掲載するなど、積極的に情報提供を行い、市民の理解に努める。	【細見委員長】我々としては、家庭ごみがバイオガス化プラント施設に使われている多くの事例を可能な限り紹介したいと考えている。 [7/27]		
	⑧ バイオガス化施設建設の必要性がよくわからない。手間とお金をかけて生ごみをバイオガス化することが市民のメリットになるのか疑問である。	意見メモ				
	⑨ 50t/日の生ごみのバイオガス化と言われても、全体像がイメージできないのではないのか。					
	⑩ バイオガス化することによって投入したごみが減ればいいが、水を入れるから結局増えるのではないかと思う。そうすると、ごみは結局燃やして処分する他に手はないのではないのか。そうすると、変な臭いも出る。危険がある設備を造るよりは、最初から燃やす設備を造って、効率のよい発電機を回した方が得策じゃないかと思う。				バイオガス化施設では、生ごみをエネルギー(メタンガス)として回収し、例えばCNG車の燃料として有効活用できるなど利用形態の多様化が可能となる。また、再生可能エネルギーの固定価格買取制度の導入により、バイオガス化の売電価格は、廃棄物の焼却余熱利用による発電よりも有利であることから、委員会としては、経済性・低環境負荷の視点から、バイオガスの活用方法を検討していく。	

項目	主な市民意見	意見の提出方法	当委員会(部会含む)での検討事項	行政が対応を検討する事項	備考 (意見交換会での委員の発言)	
4) バイオガス化施設	発酵残さ	⑪ メタンガス装置で生ごみの処理が20%ならば残りの80%を焼却するのか。それでは全量資源化の理論とは異なるのではないか。	基本計画では、生ごみ処理機で3,000 トンを堆肥化し、堆肥化できない19,000 トンについてはバイオガス化することとしている。 これは、生ごみの自家処理の可能性についての市民アンケート結果や、コスト、収集の可能性などを検討した結果である。さらに、できあがった堆肥の受け入れの可能性について、市内の農家にアンケートしたところ、「成分・品質によっては使ってみたい」を含む受け入れ可能量は約1,000 トンであり、生ごみを全量堆肥化しても、品質に問題があり現状では受け入れ先が大きく不足している。そのため、発酵残さの堆肥化は、現実的には難しいという議論がされ、補助燃料として有効利用すつこととしている。 アンケート結果の詳細は、町田市一般廃棄物資源化基本計画の資料をご覧ください。(ホームページに掲載中) http://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/kankyo/gomi/keikakutou/ippaikekaku.files/shiryouhen3-1_2.pdf	将来的には、生ごみの分別収集のモデル地区を設定して、残さを堆肥化する方策を検討するなど、有効活用を検討したい。	【細見委員長】ごみの資源化施設と候補地についての質問と答えの資料に、検討委員会で考えた答えを記載している。 [7/27]	
		⑫ メタンガスのエネルギー変換効率は極端に悪い ため、とてもリスクの多い施設であると思う。6割もの発酵残渣が出て、それをさらに燃やして、熱回収をするのだから、資源の循環になるというのは、まやかしてはいないか。				
	⑬ 発酵残さの活用に関する問題はこれからも検討を続けてほしい。	メール、FAX等		⑭ 堆肥化してもその行き場がないから燃やしてもしかたないということならば、100%資源化をうたってはいけない。従来の焼却法とどこが違うのか、メリット、デメリットをもっとわかりやすく広報で発表していただきたい。引き取り手のない残渣を燃やすというのであれば、メタンガス化施設に莫大な費用を投じる意味を理解できない市民は多いと思う。残さをどうするかアイデアを、専門家の方には勿論、広く日本中に公募し続けていただきたい。	⑮ EMの記事に生ゴミ利用としてのメタンは非効率というのを見たので、町田市が生ゴミメタン化を考えているのならば、このことも知っておいてほしいと思う。	パイオガス化施設からの排水は、法定基準値以下になるまで浄化処理をした後、放流する。
	⑯ ⑮ EMの記事に生ゴミ利用としてのメタンは非効率というのを見たので、町田市が生ゴミメタン化を考えているのならば、このことも知っておいてほしいと思う。	当日の発言				

項目	主な市民意見	意見の提出方法	当委員会(部会含む)での検討事項	行政が対応を検討する事項	備考 (意見交換会での委員の発言)	
5) 資源ごみ処理施設	プラスチックのリサイクル	① 資源化施設の建設にかかるコストを「ゴミ0」の町田市にする為に使う方が良いのではないのか	意見メモ			
		② プラスチックのリサイクルについて、単なる”燃やさない”＝”資源化”の発想でなく経済性”＝”環境”の両面を見据えて市対応すべきである。				
		③ リサイクルに回した後どれだけお金がかかって、どのような商品ができて、どのような利用価値があるかを含めて十分検証をして、やはりリサイクルをすると意味があるなということ、町田市でも十分検討の上で進めていただきたい。	当日の発言			町田市から運び出された廃プラスチックがどのように処理されているかについて、広報・ホームページなどを通じて市民にお伝えしていく。
6) エネルギーの利用	エネルギーの利用方法	① 売電利益で太陽光発電を増やせば再生可能エネルギーを作る施設(太陽光発電所)を増やす事に繋がり、町田市内のエネルギー自給率自体を押し上げていくという事になるのではないのか。	意見メモ	エネルギーの利活用、施設の副次的機能という観点も踏まえながら今後の委員会、部会で、考えられる利用方法について検討していく。	検討委員会の提案を受け、最終的には建設地の周辺の状況及び近隣にお住まいの皆様と協議してエネルギーの利用方法については、検討を進めていく。	【細見委員長】新たな意見として部会で議論したいと思う。 [7/28]
		② 発電利益をすべて太陽光発電の補助金に充当したらよいのではないのか。	意見メモ			
		③ エネルギーの使い方について、公共の施設や交通機関などに有効に利用してほしい。	意見メモ			
		④ 施設で生成された電気、都市ガスは、建設地周辺の産業支援(農業や企業団地etc)を目的として活用する考え方はないのか。				
		⑤ 電気の使用先の一つに、公共バスをぜひ挙げたい。地元還元だけでは、市民に実感がわかないと思う。	メール、FAX等			
		⑥ エネルギーの有効活用に関して、バイオガス化からDME(ジメチルエーテル)合成という手法もある。DMEはLPG同様の液化ガスでCNGに比べて扱いやすく、ディーゼルエンジンに適用でき、既存のCNGエンジンに比べて熱効率が高く、環境性能に優れた燃料である。海外でも自動車への活用が検討されている。				
	売電計画	⑦ 現行での売電状況、計画での売電はどうなっているのか。 ⑧ 電力量と、その消費先をもう少し詳しく教えていただきたい。どこへどれだけ使われるのか。	意見メモ	現在、町田リサイクル文化センターでは、毎日約67,000kWhを発電し、57,000kWhを所内利用し、10,000kWhを売電している。現在施設計画を検討している熱回収施設は10,000kWh/日以上余剰電力を見込んでいる。新しい熱回収施設の余剰電力については、施設の副次的機能という観点も踏まえながら今後の委員会、部会で、考えられる活用方法を検討していく。		

項目	主な市民意見	意見の提出方法	当委員会(部会含む)での検討事項	行政が対応を検討する事項	備考 (意見交換会での委員の発言)
7) 施設の副次的機能	① 防災拠点として整備する場合、万が一、熱回収施設が被災した場合の衛生面への配慮を忘れないでいただきたい。	意見メモ	委員会の場でも様々な意見が出されており、引き続き活用方法の検討を行っている。	検討委員会の提案を受け、最終的には建設地の周辺の状況及び近隣にお住まいの皆様と協議して副次的機能およびエネルギーの利用方法について、検討を進めていく。	【細見委員長】今後検討し、いろんな機能を付加したいと思っている。付近の方々の拠点にもなるようにしたいと考えている。〔7/26〕
	② ごみを減量していこうという気持ちになる市民が増えるように啓蒙・啓発にも力を入れてほしい。その啓蒙・啓発を行えるような研修室やごみ処理場の見学ルートなども充実させてほしい。	意見メモ			
	③ 建設予定地周辺のメリットとして、電気、ガス等を災害時のライフラインとして利用する事ができる内容を検討してほしい。	意見メモ			【細見委員長】私どもも熱回収施設が単なる迷惑施設にはしたくない。地域の市民の方にとってプラスになるようにしたい。〔7/28〕
	④ 熱回収施設には温水プールを建設してほしい。				
	⑤ 基本理念にある「ごみになるものを作らない・燃やささない・埋めたてない」の中の「ごみになるものを作らない」取り組みのアピールが出来る様なスペースは何か考えているのか。	意見メモ			
	⑥ 資源ごみの衣類についてだが、ある自治体では市民同士が交換したり、売ったりできる場所があると聞いたことがある。町田市でも検討してもらいたい。	意見メモ			【小林委員】常設のリサイクル広場や移動リサイクル広場が市内に8箇所ある。リサイクル広場には、すでに「くるくる」というコーナーがある。〔8/1〕
	⑦ これから施設を造るときに援助物資を入れる防災倉庫のようなものを施設の中に組み込んでいただきたい。	当日の発言			【細見委員長】ぜひ検討委員会の中で議論させていただく。〔7/28〕
	⑧ 高齢者福祉対策に資するものにしてほしい。	当日の発言			
	⑨ 福祉関係の活動をする拠点が無い。そういう活動の拠点になるようにしてほしい。みんなが集える場所について検討してほしい。	当日の発言			【百武委員】これまで市民の方々から、防災拠点となるようにしたらどうかというご意見を頂いている。これに併せて福祉という観点を含めたコミュニティの活動拠点としての役割も今後検討していきたい。〔7/28〕
8) 自主規制値・運転管理目標値	① 自主規制値を守れる技術があるのか。	意見メモ	自主規制値は実績がある施設の値を採用している。自主規制値は、この値を超過した場合、施設を速やかに停止し、原因を調査して必要な措置を施し、安全を確認が確認されるまで稼働を再開しないこととしている。また、リスク管理の方法として、専門家、行政、市民が協議する場を設置する等の対応策を図る方向で議論している。		【細見委員長】今までに実績がある施設の中で最も厳しい部類の自主規制値を当てはめているため、実績としては既にある。〔7/27〕
9) 建設コスト・維持管理コスト	① バイオガス化施設は人口40万人の規模の都市で成功例も皆無。費用も巨額であり、その費用を市民に押しつけるのは我慢できない。	意見メモ		費用の低減を図るため再度精査し、競争原理が働くような契約行為を検討する。また費用に関する詳細な情報は明らかになり次第適時公開する。	
	② 資源ごみ処理施設の2ヶ所の分散化は納得できるが、熱回収施設(30億+120億)の投資の必要性はあるのか。	意見メモ			【細見委員長】コストに関しては非常に議論しており、コストを安くし、より効率のよいバイオガス化施設、熱回収施設を目指している。〔7/28〕
	③ 建設予算のしぼり込みが全くされてない。	意見メモ			
	④ 売電費用が高いからメタンガス化するという記述があるが、その代金は施設維持費を賄えるほどのものかなど、併せて計画(予想)の詳細を公表していただきたい。	メール、FAX等			

項目	主な市民意見	意見の提出方法	当委員会(部会含む)での検討事項	行政が対応を検討する事項	備考 (意見交換会での委員の発言)
安全性の保証と責任の所在	① 近隣住民への影響は全くなく安全であると誰が保証し最終的に責任を負い、その旨をどのように文書として残すのか。	意見メモ		新しい施設の整備は喫緊の課題となっている。整備マニュアルや設計要領に沿って整備を進め、あわせて防災の拠点など副次的機能を付帯し、皆様に安心していただける施設整備を進めていきたいと考えている。最終責任は町田市が担うことになるが、施設周辺の皆様とは、安全に係る事項等を協議する会を設置し、話し合っていく。	【細見委員長】国の規制値よりは厳しい自主規制値を設けることにしている。これは熱回収施設だけではなくて資源化施設についても、国の定めた基準より厳しい基準を設けることにしている。基準の選定方法については、国内の類似施設の基準値を参考にしながら、より厳しい値を自主規制値として定めることにしている。また、自主規制値を守るために運転管理目標値を設置し、責任の所在を決めることよりも市民の方々と一緒に学びながら決めていこうというスタンスで考えている。〔7/26〕 【稲木委員】住民協定を結び、排ガスの測定値を住民に明らかにすることは、当たり前前の対応だがとても大事なことである。悪臭対策については考えていかないといけないと思っている。住民協定をきちんと結んでいくということが大事と思う。
	② バイオガス化施設は安全で、近隣住民への悪影響は全く無いものであると、最終的に誰が保証し、責任を負いその内容を文書として残すのか。	意見メモ			【細見委員長】安全性については、構造については国が定めたマニュアルが、それから安全装置についてもそれぞれの機関が作っている安全マニュアルがある。このようなものに基づいて整備されて造られている。この安全装置が作動するように、日常的な点検等をしていく事が義務づけられている。〔7/27〕
	③ 事故責任の所在(人名)を明確にしておき、さまざまな対策をあらかじめ明文化して公開すべき。	メール、FAX等			
10) 周辺への影響・安全管理	④ 「リスク管理」を入れていった点はよいと思う。何かあった時には「止めて改善」すること。業者には、この場合の対応をきちんと文章で確約してほしい。	意見メモ	トラブルが起きた場合は専門家、行政、市民が参加する協議会を設け、施設の近隣住民が安心できるようなリスク管理が図れる方向で議論している。	町田市としては、「リスク管理」も重要な課題のひとつと考えている。	【小林委員】リスク管理や環境保全のために、「安心できる約束・仕組みづくり」を目指し、施設を造るときには地元との協定を結ぶことを検討している。協定を結ぶ際、「何かが起こったときは、施設の稼働を止め、専門家も入って検討する仕組み」を入れていくことが大事だと思っている。〔7/26〕
	⑤ 万が一の事故、災害など(例えば、ガス爆発、ガスもれ、火災など)による周辺住民の住宅密度、病院など避難計画などの施設の事故管理について検討してほしい。	意見メモ			【藤倉委員】災害やその他の原因で万が一何かの問題が発生した場合の対応策については、この検討委員会の中で全てを決めてしまうのではなく、候補地が決まった後、周辺の住民の皆さんと、どんな仕組みにするのか市と約束をしていただく。だから、市は必ず約束をしますというところまでをこちらでは示している。〔7/30〕
	⑥ 「災害やその他の原因によって万が一問題が発生した場合の対応策」とあるが、どのような事象が想定され、その影響をどう評価しているのか明確に示していただきたい。				【小林委員】委員会の中では国の規制値や自主規制値及び運転管理目標値を設けて稼働すると同時に、「何かあったときには施設の稼働を止めて、原因は何なのかというのをきちんと明らかにする仕組みをつくること」を提案している。〔7/28〕
事故、災害時の対応	⑦ この土地に造るということは、この土地の住民がリスクを背負うということである。リスクがゼロなんていうことはない。廃棄物、川の汚染、運搬車の排ガス等々も全てこの地域のリスクとなる。	当日の発言			
施設の安全対策	⑧ 搬入口はもちろん、バイオガス設備への投入のための破碎設備、分別設備、コンベアー等、並びに発酵後の残渣の脱水設備、脱水残渣やろ液への対策も必要である。また、発酵槽及び発酵液やガスの配管、脱硫装置の確実な密閉が重要であり、特に安全弁を、安全が図れるとともに密閉が確実に保たれる構造にすることが重要になる。新しい施設は、「多少臭いけどこういう施設では仕方がない」ということにならないようによろしく願いたい。	メール、FAX等	臭気対策をしっかりと行うとともに、モニタリング結果を公開する方向で検討している。		

2. 建設候補地に関する事項

項目	主な市民意見	意見の提出方法	当委員会（部会含む）での検討事項	行政が対応を検討する事項	備考 (意見交換会での委員の発言)
1) 自然環境の保全	① 緑豊かな町田の貴重な自然に配慮して候補地を選定していただきたい。	意見メモ	三次選定の評価項目においても緑地保全に関する項目の配点が高くなっている。建設候補地選定専門部会にて緑地保全に関する項目の配点等について引き続き検討を行う。		【百武委員】これまで市民の皆さんから緑の保全を重視して欲しいという声が多く寄せられており、こうしたご意見を踏まえ三次の評価項目の配点で特に配点を高くしている。今回頂いたご意見を受け止め、さらに議論していきたい。 [7/26、8/1]
	② 三輪エリアは横浜市青葉区寺家町の緑地の近くだと思うが自然環境は配慮されているのか。	意見メモ			
	③ 人々のより良い環境のための施設であるのならば、今ある貴重な環境（緑地、農地、森林等）を壊して建設することほど愚かなことはない。	メール、FAX等			
2) 市境からの距離、近隣市との関係	① 隣接市との話し合い、意見交換会等の状況はどうなっているのか。	意見メモ		市境付近にも候補地があることを踏まえ、適時隣接市との情報交換を行っていく。	
	② 他市からの反対が出れば計画を見直す必要があるのではないか。	意見メモ			
3) 分散化	① 施設の一極集中化は反対する。この点を配慮した選定をしていただきたい。	意見メモ	施設の分散化を要望する声が多かったことを踏まえ、三次選定の評価項目に分散化に関する項目を追加した。建設候補地選定専門部会にて引き続き議論を行い、一部の地域に施設が集中しないように検討する。		【百武委員】施設を分散化については委員会でも重視しているが、今回改めて意見を頂いたことを受けとめ、さらに議論していきたい。 [7/31]
	② 一部の地域に施設を押しつけるのはやめてほしい。	意見メモ			【百武委員】今後検討したい。 [7/31]
	③ 資源化施設の分散化が2ヶ所では分散化とはいえないのではないか。	意見メモ			
	④ 分散化と言いながら、分散化の可能性は低いのではないか。	意見メモ			【百武委員】二次選定結果は、物理的、法的に建設可能な場所を示したものである。三次選定では、熱回収施設と資源化施設、資源化施設同士の組み合わせを「分散化」という視点で評価していきたい。 [7/27]

項目		主な市民意見	意見の提出方法	当委員会（部会含む）での検討事項	行政が対応を検討する事項	備考 (意見交換会での委員の発言)
4) 周辺地域への配慮・メリット	エネルギーの地域還元	① 色々な施設が出来るが、近隣住民への対策を考える必要があるのではないか。	意見メモ	施設の副次的機能という観点も踏まえながら、エネルギーの活用方法について、委員会、部会で検討していく。	検討委員会の提案を受け、最終的には建設地の周辺の状況及び近隣にお住まいの皆様と協議して副次的機能およびエネルギーの利用方法について、検討を進めていく。	
		② 当該地域に再生可能エネルギーを供給（無料）されるように配慮してほしい。	意見メモ			【百武委員】今後の検討の参考にす る。 [7/27]
		③ 候補地の周辺住民は優先的に補助金で太陽光をつけられるとか、多めに補助金がもらえるとかあってもいいのではないか。	意見メモ			
		④ 発電やガス化を検討しているのであれば、地域に還元してほしい。	意見メモ			【百武委員】今後、検討していきたい。 [8/1]
		⑤ 建設候補予定地に決まった地域住民の、生活上のメリットはあるのか。例えば、温水配管、蒸気配管、暖房等への利用が挙げられる。	意見メモ			【藤倉委員】メリットについては、今後検討していく予定である。 [8/1]
	候補地周辺の環境配慮	⑥ 全体の流れはわかったが、候補地周辺の環境対策はどうなっているのか。	意見メモ	整備基本計画専門部会ではこれまで規制基準について、自主規制値として厳しい値を採用することについて、議論してきた。建設候補地選定専門部会では生活環境影響調査及び周辺地域への配慮に関する情報共有を行ってきた。環境影響評価は今回委員会の検討の範囲内では実施できないが、景観整備や緑化等も考慮に入れた基本的な考え方を整理した上で今後の検討に申し送ることが考えられる。		
		⑦ 下小山田は町田リサイクル文化センター、多摩のごみ処理施設に挟まれる位置にある。ここにもう1つ施設を建設する場合の環境への配慮がされているのか心配である。また、下小山田は都市計画があり道路拡張や民家立退きが計画されている。計画通り、ごみ処理施設を建設した場合、双方のトラックの交通量や排気ガス、児童の通学の安全等も心配である。				
	体調不良を訴えた市	⑧ 施設が建設され体調不良を訴えた家の移住の権利を認め、移転費用を市で負担すべきである。	意見メモ		現有施設についても、体調不良を訴える市民と直接お話をし、症状の改善、そして設備の改善に努めてきた。本委員会において検討している施設についても、個々の状況に応じて検討していきたい。	

項目		主な市民意見	意見の提出方法	当委員会（部会含む）での検討事項	行政が対応を検討する事項	備考 (意見交換会での委員の発言)
5) 交通状況について	交通渋滞の影響	① 収集運搬車の通行による影響は、渋滞などの影響も考慮すべきである。	意見メモ	建設候補地選定専門部会にて三次選定評価項目の点数配分を再度議論する際に検討する。	施設計画にあたっては、渋滞の影響も考慮する。	【金田委員】渋滞状況は重要な問題だと思っている。〔7/28〕
	搬出アクセス	② 資源ごみ処理施設の場合、搬入だけでなく業者に出す搬出もあるため、搬出アクセスも考えて選定をされたらいいか。	当日の発言		資源ごみの搬出（再資源化）先は1社固定ではないため、アクセスについては評価項目としていない。しかし、施設の建設にあたっては、候補地周辺の交通状況を配慮した整備、施工をする。	【百武委員】ご意見をぜひ参考にしていきたいと思う。〔7/26〕
6) 評価方法・項目・配点について	評価結果の扱い	① 評価項目の配点にバラつきがある。評価点が同点の候補地がある場合、どの評価項目を優先するのか不明である。 ② 第三次選定 評価項目・配点が近似した場合の採択、切捨等の評価はどのように行うか。	意見メモ		委員会では熱回収施設等及び資源化施設の三次選定結果について点数による順位付けを行う。市はその報告を受け、その結果や諸々の状況を踏まえ最終決定をする。	【百武委員】決められた評価項目と配点に従って点数化を行い、一番点数が高かったもの、2番目に点数が高かったもので順位を付け、点数付きで市に報告することになっている。点数が近似した場合も含め、市が候補地を最終決定することになっている。頂いたご意見を基に配点の考え方をもう一度見直し、最終決定した配点にしたがって点数化した結果は、わかり次第市民に報告する。〔7/27〕
	評価結果の公表	③ 配点案に関する詳しい説明が必要である。 ④ 評価結果は公表するのか。	意見メモ		委員会、各部会で使用した資料は市ホームページに掲載している。採点結果も委員会で議論した後公表する。広報紙等でも情報発信を適時行っていく。	
	余熱等の利用	⑤ 評価項目5「余熱等の利用に対して」について、一般的な家庭で使うことを考えていないのか。	当日の発言	施設の副次的機能という観点も踏まえながら、エネルギーの活用方法について、委員会、部会で検討していく。	検討委員会の提案を受け、最終的には建設地の周辺の状況及び近隣にお住まいの皆様と協議して、エネルギーの利用方法について、副次的機能とあわせて、検討を進めていく。	【松波委員】余熱利用について、ここでは公共交通機関の拠点ということで、公共にしか用途が指定されていないけれども、一般家庭の用途利用は考えられないか、というご質問だった。非常にいいご意見だと思う。〔7/28〕
	液状化現象	⑥ 液状化、関東大震災のときに、小山田地区については液状化になっている。もう一度きちんと調べていただきたい。	当日の発言		町田市のホームページで公開中 http://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/kankyo/kankyogomishingikai/junkangata/20120724122421956.html	【百武委員】データをできるだけ集め、評価項目に入れるかどうか、検討していきたいと考えている。〔8/1〕

項目	主な市民意見	意見の提出方法	当委員会（部会含む）での検討事項	行政が対応を検討する事項	備考 (意見交換会での委員の発言)
6) 評価方法・項目・配点について	⑦ 市境からの距離の配点（1点）は低く過ぎるのではないか。	意見メモ	建設候補地選定専門部会にて三次選定評価項目の点数配分を再度議論する際に検討する。		【松波委員】市境からの距離の配点は再度検討したいと考えている。 [7/28]
	⑧ 余熱等の利用の評価があまりにも低いため、改善を求める。	意見メモ			【百武委員】今後検討したい。 [7/31]
	⑨ 安全対策に充分配慮した構造物を建設するのであれば、住宅が密集している地区が候補地に近接していてもいいはずではないか。	意見メモ			
	⑩ 「住宅が密集している地区が接近していないか」の評価には疑問がある。この評価は、「環境対策に自信がないから、少数の人を犠牲にしようという考えなのか」との疑念も生じるのではないか。	メール、FAX等			
	⑪ 「評価する」という考え方について提案する。 《考え方（方法）》 ①大項目としての現在提示されている満点の配点は無くす。 ②各委員の提示した小項目の配点をポイント点とする。 ③各小項目の評価を0～5の6段階とする。 ④②のポイント点と③の評価点を掛け合わせる。 ⑤④の点を大項目の評価点とする。 ⑥合計を総合評価点とする。 ⑦この総合評価点を施設建設候補地の判断基準の参考として提案する。 《理由》 現在の項目による配点は各委員の考え方による項目別の重み付けとして理解できるが、「評価する」という点において、小項目での満点方法でのばらつきは好ましくないと考えられる。各委員の考え方のまとめをポイント点として表され、それを評価点と掛け合わせるにより数値は大きくなるが、総合評価の判断がし易くなるのではないかと考えられる。				
	⑫ どういう基準、根拠で1点の価値を算出しているかが分からない。どの項目の1点も同じ価値だとは言えないと思う。点数という数字にする意味はないと思う。あらかじめ、候補地の情報を入力して逆算し、狙いを定めている候補地の点数が良くなるような配点にしたと疑われても反論できないのではないか。各項目で◎○△×程度の評価で、あとは総合評価とする程度が適当ではないか。				
					【百武委員】地盤状況についてもっと点数を高くすべきではないかというご意見については承ったので、今後の検討をさせていただく。 [7/27]

項目		主な市民意見	意見の提出方法	当委員会（部会含む）での検討事項	行政が対応を検討する事項	備考 (意見交換会での委員の発言)
6) 評価方法・項目・配点について	類似施設	⑭ 今ある町田リサイクル文化センター、清掃第二事業所は、類似施設に含まれるのか、建て直すのであるから類似施設には含まれないとするのか、どちらかが分からない。	メール等	候補地が別の場所になった場合現有施設を撤去することになるため、類似施設には含まれない。		
	三次選定の評価項目の追加意見	⑮ 住民の感情	意見メモ	客観的な評価項目を設けて候補地選定を議論しているため、評価項目には反映しない。しかし環境対策等を通じて地域住民の理解が得られるように努めていく。		【百武委員】地区住民の感情を入れると客観的な評価、点数化をすることができなくなるので住民感情は排除して評価する。本委員会ではあくまでも客観的な見地から町田市にとってはどこが一番建設にふさわしいのか報告する。〔7/27〕
		⑯ 現在の渋滞状況、交通への影響	意見メモ	建設候補地選定専門部会にて三次選定評価項目の内容を再度議論する際に検討する。		【金田委員】渋滞状況は重要な問題だと思っている。〔7/28〕
		⑰ 今後の人口の若年層の割合を考慮に入れた近隣の人口状況	意見メモ			【松波委員】考慮が必要である。〔7/28〕
⑱ 周辺住民の安全管理						
7) その他	と利用の整計土合画地	① 町田リサイクル文化センター建設当時の「土地利用計画まちづくり計画」の市のマニフェストの中に、「東京都市モノレール中継基地建設」「総合グランド建設」とあるが、整合性はどうなっているのか。	意見メモ		関係部局と調整の上、情報を公開する。	
	民有地の情報公開	② 相原町に候補地があるが、話の様子からすでに地権者と交渉が進んでいるようだが、個人情報と情報公開のバランスをどのように考えているのか。	意見メモ	地権者の了解が得られた段階で、順次具体的な場所を明らかにする。		【松波委員】個人情報を重視した結果、配布した資料のような表示になっている。相原エリアは青い点線の円で描かれているが、この地域に候補地があるという程度の表現にとどまっている。〔7/28〕
		③ 三輪エリアの地権者は候補地となることを了承したのか。	意見メモ			
		④ 個人情報ということで、我々に知らされるときはすぐ遅くなる。それで、我々が知ったときは、もう既にほとんど既成事実になっている。恐らくまた今度もそうなるだろう。	当日の発言			

3. その他の検討事項

項目	主な市民意見	意見の提出方法	当委員会（部会含む）での検討事項	行政が対応を検討する事項	備考 （意見交換会での委員の発言）	
1) 委員会や意見交換会の進め方について	① 意見交換会の開催日を年1度の行事がある日に開催することは不適切である。今後は気をつけてほしい。	意見メモ		より多くの市民に地域説明会に参加していただけるよう、開催日時や広報の方法について検討する。また意見交換会の内容についても、よりよいものにするために引き続き検討する。		
	② 意見交換会を19時から開始すると、若い人の参加が難しいのではないかと。今後の社会を担う若い人達にも理解を得られる様な方法も考える必要があるのではないかと。	意見メモ				
	③ 施設建設を推進するのであれば、より中味の濃い意見交換会を望む。さらに当問題に詳しい専門家や研究者の説明も希望する。	メール、FAX等				
	④ 地元にとっては切実な問題なので、4時間ぐらいの会議で考えていただきたい。今回は2時間のうち1時間が説明で質疑応答は1時間しかない。半日ぐらいとっていただきたい。	当日の発言				
2) 広報や住民との合意形成について	資料の配布			建設候補地選定の客観性を市民に理解していただくため、広報紙等で候補地選定の流れを示す。		
	住民との合意形成	① 意見交換会で配布された「建設候補地選定の流れ」というプリントは、広報まちだとは別に、全市民に配布すべきである。	意見メモ		検討委員会から各候補地の点数結果を含む三次選定結果を受け取り、市が建設候補地を最終決定する。その後、市の主催で地域説明会を開催する。また、施設の設計の段階においても周辺住民の意見を取り入れる仕組みを検討していく。	
		② 施設建設候補地の住民との話し合いを最優先事項とし検討を進めていただきたい。	意見メモ			【百武委員】候補地が決まった段階でできるだけ早く地域との協議を始めていこうと考えている。また、十分に話し合いを行い地域にとって納得がいく形での施設計画を進めていくべきだと考えている。 [7/27]
		③ 建設候補地や施設整備の計画が決定し、施設の設計を行う際は、市民の声は聞いていただけなのか。	意見メモ			【百武委員】決定後は、地域の方々とどんな施設にしたらいいのか、地域住民の方々の意見を聞きながら検討していくことになる。 [7/30]
		④ 市民が排出するごみであるため、安心・安全・安定のための仕組み作りを考えたいと思う。そのための市民と共に検討する組織を考えているのか。	意見メモ			【松波委員】近隣の方々の理解を得るために意見交換会を行っている。 [7/28]
		⑤ 近隣住民の理解はどのようにして得られたと判断するのか教えてほしい。	意見メモ			【百武委員】地域の方々とどんな施設にしたらいいのか、意見を確認しながら検討すると思う。 [7/30]
		⑥ 住民のイメージに基づいた意見をどのように吸い上げるのか。	意見メモ			
		⑦ 建設候補地を最終決定したら、その周辺住民との説明会をどのように考えているのか。バイオガス化施設とプラスチックの資源化施設とは対応が違うと思うがどうなのか。	意見メモ			
		⑧ 建設候補地に住んでいるが、決定する前に町内会に対して委員の方より説明はあるのか。	意見メモ			
		⑨ 候補地の方々の反対が多い場合は、絶対に押し切らないでいただきたい。「撤退」も選択肢の一つに入れることを切に願っている。	メール、FAX等			
		⑩ 分散化を目論むならまず各地域の理解を得る事が第一と考える。各地域にゴミ処理の現状と各地域に収集基地、処理施設等の必要性を説き訴え、各地域で造るにはどうしたら良いか考えてもらう。今回の建て替えの件を3年～5年かけて計画する事は、短期すぎて無理がある。				
		⑪ 候補地が決まったら地域住民との話し合いを行うようだが、地域住民の意見を聞いて、その意見が非常に強いものであれば、ここに造るということを別に変える可能性があるのか。	当日の発言			【百武委員】本委員会は市のどこに施設をつくるべきなのか客観的に決めるため、選定前に評価項目や配点などについて、意見交換会や意見募集などで市民の皆さんから意見を伺い、これらの意見を一つずつ検討し、慎重に議論して決定するものである。その結果は、町田市も町田市民も尊重して欲しいと思う。そのために、選定前に委員には気が付かない視点、見落とししている視点があれば意見を言って頂きたい。 [7/27]
⑫ 例えば税金の通知は必ず通知されてきて、チラシのような形になっている。各家庭にダイレクトに届けるという形の通知もある。地域が絞り込まれた際には、そのぐらいではどうか。	当日の発言		広報手段の選択肢の一つとして検討する。	【細見委員長】それは非常にありがたい意見であるため、次回以降の我々の検討委員会でも議論させていただく。 [7/28]		

項目	主な市民意見	意見の提出方法	当委員会（部会含む）での検討事項	行政が対応を検討する事項	備考 (意見交換会での委員の発言)	
3) その他・町田市の施策について、など	生ごみの分別・堆肥化	① 生ごみ3000tの処理（堆肥化）の具体的な方法についてお聞きしたい。大型電動生ごみ処理機のメーカーが今後継続して作り続けられるのか。10年後も現状が維持出来るのか。市の負担も含め回答していただきたい。	意見メモ	今後、廃棄物減量等推進審議会を学識経験者や一般の方を対象に公募し発足させる予定である。その中で、ごみ減量のための具体的施策、大型生ごみ処理機や家庭の生ごみ処理機の普及も含めた生ごみ対策の施策について議論していきたいと考えている。		
		② 選別方法（生ごみ）について、住民の高齢化が進んでいく中で実施出来るのか。				
		③ 生ごみを町田市内の農家が堆肥として使用したいと考えていても実際問題としては、全く足りない実態があるようだが、この問題に対する具体的施策があれば教えてほしい。				
		④ 30年、40年後も生ごみや可燃ごみも一緒に回収される状況は、市民として悲しく誇りもなくなる。				
		⑤ 生ごみを家庭で処理するという事だが、家庭で腐葉土の処理ができない場合はどうするのか。				
		⑥ 生ごみの堆肥化を勧めたいのであれば、住民を組織化しフォロー体制を確立する必要があると思う。				
	⑦ 家庭で生ごみの堆肥化を行う場合、処理機は電力を消費するため、大型処理機の導入も含め再検討していただきたい。	意見メモ			【藤倉委員】 検討する場合は優先順位を決める必要がある。基本的には消費するエネルギーが少ない方法を導入した方がよいと考えているが、想定するケースによって対応は異なるだろう。〔8/1〕	
	⑧ 現在居住している団地では、生ごみ処理機を今年の3月までに12台導入したが、住民からも好評なので、更に数台増設してほしい。	意見メモ				
	⑨ EM菌を広めるためにどれだけ努力しているか。	意見メモ			【金子委員】 JAでEM菌が含まれる補助剤、ぼかしを販売している。〔8/1〕	
	⑩ 可燃物から生ごみを取り出すのではなく、「なまごみ」は「なまごみ」として回収すべき。	メール、FAX等				
ごみの減量化の取り組み	① まず限りあるごみの処理を「資源化」「リサイクル」という耳触りの良い言葉で片付けず、ごみの減量化を市民に訴えることをやるべきではないのか。 ② 発生抑制の対策を市民に提起する必要があるのではないのか。ごみを出さないことへの取り組みが弱いのではないのか。 ③ ごみの資源化施設が主な検討議題となっており「ごみゼロ」「ごみの減量」への推進が忘れられているように感じる。以前ごみの有料化が決定されてより目立った活動はされていないのではないのか。生ごみの堆肥化は現状では堆肥の受け入れに限りがあるようだが、他に奇策は考えられないものか。またプラスチック等は市民のみならず企業への働きかけを含め減らす努力が必要ではないかと強く思う。	意見メモ				
		ごみの分別	① 期間は2012年から2020年までの間でかなりの年月がある。現在の分別項目がさらに増える場合の具体的な方策を検討しているのか。	当日の発言		容器を包装するプラスチック類は分別して別回収にしていく予定である。また、生ごみもできるだけ生ごみ単独で集めていきたい。具体的な方策は検討中である。
			基本計画の理念	① 「作らない、燃やさない、埋め立てない」はどのように実施されているのか。 ② 基本理念の「ごみになるものを作らない・燃やさない・埋め立てない」の、「ごみになるものを作らない」のアピールが弱いと思う。	意見メモ	